

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 651 号	氏名	豊田 智美
学位審査委員	主査	中尾 一彦	
	副査	下川 功	
	副査	永安 武	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、肝虚血再灌流障害に対するミルリノンの薬理的ポストコンディショニング（肝保護）作用を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 雄性ウイスターラットの肝左葉、中葉への血流を 60 分間遮断後に再灌流を行う実験モデルを用い、再灌流開始直後と 30 分後にミルリノン投与し、そのポストコンディショニング作用を検討し、さらに phosphatidylinositol 3-kinase (PI3K) 阻害剤と nitric oxide (NO) 合成酵素阻害剤を用いた検討も行っており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 ミルリノンを再灌流直後に投与することにより、肝の病理組織学的障害度は著明に改善し、血清中肝逸脱酵素の上昇と肝のアポトーシスも有意に抑制された。また、その作用に PI3K と NO が関与していることが示唆された。これらの結果は、ミルリノンが肝の虚血再灌流障害に対しポストコンディショニング作用を持つことを明確に示しており、今後、臨床への応用が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は肝虚血再灌流障害の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			